

晴れた日には出かけよう！
～まちのミリョクを再発見!!～

5 鉄道のある風景

～大久野駅～



そのむかし 日の出町にも鉄道が走っていたのをご存知ですか？



大久野を走る蒸気機関車（昭和 30 年頃の撮影）
五日市郷土館「五日市の百年」より転載



現在は温泉行きの機関車バスが走ります

かつて日の出町には、五日市線の武蔵五日市駅から岩井に伸びる支線があり、『大久野駅』と『武蔵岩井駅』という2つの駅がありました。

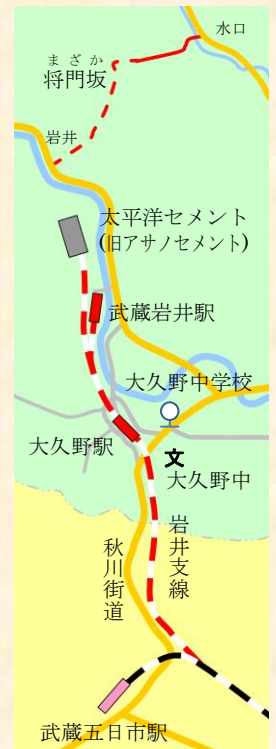
五日市線の開業は大正 14 年(1925)で、私鉄の五日市鉄道として開業しました。当時、拝島方面から来た列車は武蔵五日市駅に停車したあと一度拝島方面へ戻り、スイッチバックして北側に伸びる支線へと入って行きました。現在の高架線の登り口部分が当時の支線の入り口になります。支線に入った列車は小机坂で秋川街道と並走し、大久野中の西側で街道を横断します。その先、現在の大久野老人福祉センターの付近に大久野駅がありました。このあたりは当時、大久野で最もにぎやかな場所でした。大久野駅で列車は武蔵岩井駅に行く客車とセメント工場に入る貨物に別れます。そして、客車は現在の太平洋セメント入り口、岩井橋を渡った左手にある社員駐車場の辺りにあった終点の武蔵岩井駅へと向かいました。現在でも駅舎の名残が社員用駐輪場として使われています。

岩井まで旅客列車が走っていた頃は、岩井から水口へと抜ける将門坂を越え、水口・長井方面へと歩く人もいたそうです。また当時の列車は朝夕に数本ずつしかなく、利用する人は乗る時間も座る場所も同じで、みな顔見知りだったそうです。時には、乗り遅れた人のために列車が待ってくれたり、学生が教科書を忘れて車中の人にお金を借りたりといった事もあったとか。当時は、そういうのどかな時代だったんですね。

武蔵五日市から武蔵岩井の区間の旅客運輸営業は昭和 46 年(1971)に廃止され、同時に武蔵岩井駅も廃止されました。しかし貨物運輸営業はその後も続けられ、大久野駅は貨物駅として存続していました。

支線には浅野セメント(現在の太平洋セメント)工場内の引き込み線へ向かう貨物列車が日に数本運行していて、時々、大久野駅に停車している貨物列車を見かけることができました。その後、トラック運輸への転換により五日市線貨物支線も昭和 57 年(1982)に廃止され、日の出町からは駅も鉄道も姿を消しました。

今では駅舎や踏切の跡などは殆ど残っていませんが、付近をよく探せばまだコンクリート製の柵など、当時の面影を見つけることができるかもしれません。



..... アクセス

大久野駅跡(大久野老人福祉センター)へは「大久野中学校」バス停下車、徒歩5分です。

日の出WALK(観光マップ)【1-7】

